

講義名	観光・ホスピタリティ業界実務実践/ホスピタリティ実践論			授業形態	
担当教員	金 承珠	開講期・曜日・時限	後期集中 その他 その他		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

本講義では、企業をはじめとする学外の組織・団体において実施される研修（就業体験）と、学内で行う事前・事後研修として成果発表を一体的に行うことで、インターンシップの教育効果を高めることを目的とする。

事前研修では、研修先となる企業や業界に関する調査・研究を行い、業界理解や職業観の形成を図る。事後研修では、インターンシップで得た経験や成果を整理・分析し、報告としてまとめるとともに、今後のキャリア形成に活用する。インターンシップは就業体験を通して、自己の適性や能力を客観的に理解し、企業活動の実感を学ぶ貴重な機会である。また、アルバイトとは異なり、将来的に可能性のある職業について、責任ある社員・職員の立場に近い形で業務を経験できる点に特徴がある。本講義を通して、職業選択に必要な実践的能力と社会人基礎力の向上を目指す。

到達目標

1. 企業や団体における就業体験を通して、自己の適性や能力、職業観を客観的に理解し、将来のキャリア形成に活かすことができる。
2. 研修先の業界・企業に関する知識を修得するとともに、実務経験を通して社会人として求められる基礎的能力（主体性、責任感、コミュニケーション力等）を身につけることができる。
3. インターンシップで得た経験や成果を論理的に整理・分析し、報告としてまとめることで、実践経験を学修成果として表現することができる。

提出課題

インターンシップ実施期間中は毎日振り返りを行い、日報に言語化するインターンシップ日報を作成のうえ、提出してください。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

- ・講義の約10分前に講義内容の理解を確かめるため講義毎に質問・コメント表作成を行います。
- ・前回の質問・コメント等について授業内でフィードバックする。

評価の基準

課題提出（インターンシップの日報）と派遣企業による学生の研修内容に関する評価：50%
 成果発表：20%
 授業への参加態度：30%

履修にあたっての注意・助言他

- 1) 受入企業によって受入期間および研修内容が異なるため、本科目の履修を希望する者は、必ず事前に個別面談を受けたうえで履修すること。
- 2) 事後学習の自時場所は履修者確定後に調整する。

教科書					
参考図書					

その他

授業計画

1. オリエンテーション（インターンシップ全般に関する説明と授業計画・履修ルールの説明、質疑）
2. 事前研修 インターンシップの意味について考える
 予習内容：インターンシップの意義等について、自身で調べまとめる（90分）
 復習内容：講義内で学んだ知識を実践で活かせるよう定着させる（150分）
3. 事前研修 インターンシップ受入先について調べて学ぶ
 予習内容：インターンシップの受入先・企業について、自身で調べまとめる（90分）
 復習内容：講義内で学んだ知識を実践で活かせるよう定着させる（150分）
4. 事前研修 ビジネスマナーの基本について（挨拶・身だしなみ・言葉使い等）
 予習内容：ビジネスマナーについて、自身で調べまとめる（90分）
 復習内容：講義内で学んだ知識を実践で活かせるよう定着させる（150分）
5. -14 インターンシップ実習（2月中予定）
- 15 事後研修：成果発表
 予習内容：インターンシップ日報やインターンシップ実施内容を振り返ってまとめる。（90分）
 復習内容：講義内で学んだ知識を実践で活かせるよう定着させる（150分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本学が掲げる「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を備えたビジネスパーソンの育成」というディプロマ・ポリシーと合致するものである。本科目を通じて、キャリア（職業人生）形成に関する理解を深めるとともに、コミュニケーション能力およびチームワーク力を身につけることができる。

また、実社会で活躍するビジネスパーソンとの意見交換を通して、自身の価値観に基づき「就職の軸」を形成し、就職活動の過程において適切に自己表現を行う力を養うことができる。さらに、本科目は、本学ディプロマ・ポリシーに掲げる「自主・自立の精神を持った人材の育成」という理念とも整合するものと考えられる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考	
----	--